

サポートルームだより

0100

2025年2月3日 No.10
町田市立南成瀬小学校
サポートルーム拠点校
校長 吉成 美紀
サポートルーム担当

連日、寒いが続いています。風邪が流行しやすい時期です。支度の手順に「手洗い」を入れています。冷たい水が苦手な子には教員が声を掛け、一緒に取り組むことで、手洗いに取掛かることができます。感染症予防のために手順に無くても習慣化できるように指導しています。今年度の指導も残り数回となりました。引き続き、よろしくお願いいたします。

今後の主な行事予定

- 3月 3日(月)～18日(火) サポートルーム個人面談期間
- 3月10日(月) サポートルーム今年度指導終了
- 4月 9日(水) 10:00～ (南成瀬小)
10日(木) 10:00～ (高ヶ坂) サポートルーム保護者会
在籍校に関わらず、どちらの会場でもご参加いただけます。

予定は変更となる場合があります。

お知らせ

〈確認書について〉

来年度もサポートルームに通うお子さんを対象に「確認書」のご提出をお願いいたします。連絡帳ポケットに入れて配布します。受け取られたら2月20日までにご提出ください。

〈面談について〉

3月の面談では、お子さんの成長やサポートルームでの様子などをお話します。また、気になることや不安に思っていることなどをお話しいただき、解決策を一緒に考えていく機会になればと思っています。限られた時間ですので、お話しになりたいことを事前にまとめておいていただくと助かります。当日ご都合が悪くなった場合は、ご連絡ください。

お子さんがこんな問題を抱えていませんか？

- 部屋や机の上など身の回りが常に散らかっている。
- 物の価値が分からない。
- 片付ける場所が決めていない。
- いらぬ物を捨てられない。
- なくし物が多い。



物を分類することが難しいのかもしれませんが。整理整頓のためには、例えば「いる物」「いらぬ物」のように物事の意味や用途を考慮してまとめること(カテゴリー化)が必要です。そして、状況に応じてどんな順番で必要なのか、「毎日使う、たまに使う、めったに使わない」など優先順位を付けると、効率よく片付けられます。

ごちゃごちゃにならないための対策



サポート1

物をカテゴリー化する

- 洗濯カゴなどの入れ物をいくつか用意し、「勉強道具」、「おもちゃ」、「衣類」(「友達やきょうだいから借りたなど)他の人の物」などのラベルを貼ります。
- お子さんと一緒に物を分けます。
- それぞれのカゴの中身のあるべき場所に片づけます。あらかじめ片付けの場所の引き出しや棚、おもちゃ箱などに、ラベルを貼っておきましょう。「他の人の物」は、どんなささいな物でも、持ち主に返します。

サポート2

「すること・やったこと」システムを作る

- 宿題などが入る箱やカゴを準備して、「すること」「やったこと(済んだこと)というラベルを付けます。
- まだやっていないプリントなどを「すること」の箱に入れ、完成したら「やったこと」の箱に移すように促します。

サポート3

ぐるっと見回す習慣を付ける

- 勉強机や遊び場、乗り物などからお子さんが居場所を変えるときは、忘れ物や落とし物がないように「周りをぐるっと見回す」ことを習慣付けます。単に楽しくぐるぐる回るだけにならないよう、必要に応じて言葉掛けをしましょう。

参考文献 「何度言ったらわかるの？」を「できた！」に変える上手な伝え方
本多 和子著 Gakken